

年度 2009 学期 後期	曜日・校時 水・2	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	言語と芸術(これから音楽文化活動) Language and Art (Future activities of Music Culture)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 担当教員: 堀内伊吹 /Eメールアドレス: horiuchi@nagasaki-u.ac.jp /研究室: 音楽棟2階 /TEL: 095-819-2343 /オフィシアワー: 水曜日4 時間目			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 長崎の文化的環境を概観し、特に音楽文化の現状を見つめるとともに、今後の音楽文化活動のあり方を模索する。 授業方法: 講義及び指定した演奏会の実地見学 授業到達目標: 長崎の音楽文化の現状が理解できる。指定された演奏会を見学し、分析しながら評価が出来る。今後の音楽文化活動のあり方について、自分の考えが持てる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 私たちの生活に、潤いと活力をもたらす芸術文化活動が、長崎でどのように行われているかを知り、問題点を探る。 実際の舞台芸術活動を、ビデオ及び生の舞台で触れることで、芸術的な感性も高める。 第1回 文化ホールはまちをつくったか？ 第2回 芸術文化と生活文化 第3回 長崎の音楽文化事情(マダムバタフライコンクールの試み) 第4回 長崎の音楽文化事情 その2 (ながさき音楽祭の試み) 第5回 演奏会に出かけてみよう！その1 第6回 演奏会を検証してみよう 第7回 様々な音楽活動(ビデオで検証その1) 第8回 様々な音楽活動(ビデオで検証その2) 第9回 文化活動における世界各地での特徴ある取り組みについて 第10回 地域と音楽文化活動 第11回 演奏会に出かけてみよう！その2 第12回 演奏会を検証してみよう その2 第13回 地域文化発信の新たな視点 第14回 音楽文化活動の行方 第15回 まとめ			
キーワード	芸術、音楽文化活動、演奏会、文化ホール、アートマネジメント、文化政策		
教科書・教材・参考書	長崎市文化振興プラン(改訂版)、「芸術の売り方」(ジョアン・シェフ・バーンスタイン／山本章子訳 英治出版)、「ぶれない」(平山郁夫 三笠書房)		
成績評価の方法・基準等	レポート及び授業への取り組みで評価 見学した演奏会についてのレポート 80%、授業における取り組み 20%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			